

HAYAMA YACHT CLUB

第15回葉山・初島ヨットレース公示(ver20170807)

NPO法人 葉山ヨットクラブ

レース委員長 犬飼一通

1. 主催： NPO法人葉山ヨットクラブ

運 営： 葉山・初島ヨットレース実行委員会
実行委員長 ファーストスピリット 鍛地裕司
大会会長 石原慎太郎

2. コース： 葉山沖ー 初島（反時計廻り）ー 葉山新宿湾

3. 実施日： スタート： 2017年9月2日(土) 08:00

タイムリミット： スタート時刻より、24時間以内にフィニッシュできなかった艇はDNFとする。

レース延期の有無はエントリー受付にて決定する。

なお、レース延期日は翌週 9月9日(土)とする。

両日ともレースが延期となった場合は改めてレース公示する。

4. 出場資格：

① 葉山ヨットクラブ所属艇であること。

但し、葉山ヨットクラブ所属艇よりの紹介艇は参加を認める。

② 日本小型船舶検査機構による有効な船舶検査証を有する艇。

③ レース期間中有効な損害保険（クラブレースを担保するもの。賠償保険の加入は必須。搭乗者保険、搜索救助保険の加入を推奨する）を有する艇。

④ 連絡手段として2台以上の携帯電話を持つこと。携帯電話はウォータープルーフバッグで保護すること。

5. 適用規則：

① 本ヨットレースのための公示（本文書）、帆走指示書ならびに安全対策要綱

② 海上衝突予防法

③ セーリング競技規則2017～2020版

6. 責任の所在：

① レース参加者は、自己の責任においてレースに参加するものとする。

② 乗組員と艇の安全性確保はレース参加者の責務であり、乗組員の死亡、傷害、参加艇の沈没、破損等の事故、ならびに参加艇が第3者に与えた損害について

は、主催・後援協力等の諸団体、およびその役員、構成員はいかなる責も負わない。

- ③ レースの前後ならびにレース中に生じた人身事故および物的事故については、自己の責任において解決すること。
- ④ レース参加申込みに当たっては、「参加申込書・出艇申告書」に記載した“責任の所在”に関する文章、ならびに各艇が付保している損害保険がレース中不担保でないことを確認したこと、について「オーナー／代表」または「艇長」が理解し、承諾したことの署名を求める。

7. 参加料：

- ① HYC 賛助会員艇1 艇10,000 円、非賛助会員艇1 艇15,000 円。

参加料には5 名までの表彰パーティー費用を含む。これを超える場合¥1,000/1 人とし、パーティー当日支払うこと。

- ② 最終的にレース中止となった場合でも、参加料は返金しない。

8. 参加申込：

2017年8 月10 日（木）（必着）までに実行委員会に対し、「参加申込書兼出艇申告書」・「保険証書コピー」を提出し、参加料を支払うこと。なお、前者は、レース当日の最終エントリー確認をもって、出艇申告書として取り扱う。

- ① 参加申込書等： 参加申込書兼出艇申告書、は
HYCホームページ：<http://www.hayamayc.jp/clubracereport.html>
より各自ダウンロードのこと。
<http://www.hayamayc.jp/clubrace.html>からも入れます。

- ② 提出方法 FAX または郵送

FAX の場合： FAX 番号 03-5241-2375（鍛地裕司）

郵送の場合： 〒240-0112 三浦郡葉山町堀内50 番地 葉山港管理事務所内
葉山ヨットクラブ 葉山・初島レース実行委員会宛

- ③ 参加料振込先： みずほ銀行湘南台支店（普）1078991
口座名 特定非営利活動法人葉山ヨットクラブ

9. 艇長会議：

艇長会議6時50分より行う。帆走指示書をよく確認すること。

レース当日の午前6時30分よりクラブルームにて最終エントリー確認を行う。

このとき、航跡図記入用紙、定置網配置図、その他の変更点等の資料を渡す。

また、乗組員の変更がある場合は、変更された「参加申込書兼出艇申告書」を受け付ける。

10. スタート見合わせ規準：

- ① レース当日午前6時30分に、風速15 m/s 以上、視程1.5 km 以下となった場合等においては、各気象情報等を参考の上スタートの見合わせを実行委員会で検

討する。

- ② その他、レースの安全な運営に支障をきたす気象情報等が発令された場合はこれに限らず慎重に協議し、実施の可否を検討する。

11. 表彰式：

2017 年9 月3日(日) 12:00 より受付。12：30より葉山港管理事務所3 階会場にて表彰式パーティーを開催する。9月9日（日）にレーススタートを延期した場合は、9月10日に表彰式パーティーを行う。

12. 表彰・順位賞：

葉山ヨットクラブレース委員会の定めるTCF による修正順位の1, 2, 3 位艇ならびにファーストホーム艇を表彰する。その他多数の賞品を用意・協賛各社からの賞品あり。

13. 運営と各種問合せ先：

レース委員長： 犬飼 一通 ponton@firstmarine.co.jp

レース実行委員長 鍛地 裕司 hiroshikaji2002@yahoo.co.jp

実行委員艇： ファーストスピリット、シオン、アルカ、RAIA, ウェイビーホット

14. プロテスト

抗議の締め切りは最終艇のフィニッシュから60分とする。所定の抗議書は抗議締切時間内に実行委員会に提出されなければならない。抗議に関する審問及び裁定はプロテスト委員会(レース委員会が兼任)が行う。

15. 特記事項 (SailVisionによるレース艇位置モニター)

今回のレースでは、SailVisionを採用し、陸上のPCでもリアルタイムにレース参加艇の位置および航跡を見ることができるよう考えています。

詳細については、後日連絡いたします。

以上



HAYAMA YACHT CLUB

2017 年 8 月 7 日

ver20170807

第 15 回 葉山・初島ヨットレース 帆走指示書

葉山ヨットクラブ レース委員会

葉山・初島ヨットレース実行委員会

1. コース：葉山沖スタートライン＝初島(反時計)⇒葉山(新宿湾) 【約 52 海里】
2. スタート：時刻：2017 年 9 月 2 日（土） 08：00（時報）
＊スタート延期の有無は、艇長会議にて決定・連絡する。
スタートライン：葉山沖 本部船を右に見てアウトマークとの間をスタートラインとする。
スタートライン消滅：スタート時刻の 30 分後とする。
3. フラグシステム： 別紙に示す。
4. スタート見合わせ規準：
レース当日午前 6 時 30 分に、風速 15m/s 以上、視程：1.5Km 以下となった場合等においては、各気象情報等を参考の上スタートの見合わせを実行委員会で検討する。その他、レースの安全な運営に支障をきたす気象情報等が発令された場合はこれに限らず慎重に協議し、実施の可否を検討する。
5. レース海域危険個所：
レース海域における各種漁業施設及び暗礁等の危険個所については各艇の責任において十分承知・確認しておくこと。委員会で承知している個所についてはあくまでも参考図として概略を艇長会議においても連絡する。
6. フィニッシュライン：
葉山新港赤灯台とそこから磁方位約 325 度方向に設置した三角ブイ（オレンジ色/ゼニライト付き）を結ぶ線
7. タイムリミット：スタート時刻より、24 時間以内にフィニッシュできなかった艇は DNF とする。
8. コース短縮：コース短縮は行わない。
9. 参加資格：葉山ヨットクラブ所属艇及びその紹介艇
10. 参加料：
賛助会員艇 1 艇 10,000 円、非賛助会員艇 1 艇 15,000 円
＊この金額には 5 名までのパーティ参加料を含み、追加参加者は¥1,000/人とする。また、レースが中止となった場合でも、参加料は返金しない。
11. 出艇申告と確認：
出艇申告内容の変更がある場合必ず艇長会議までには届出ること。いずれにしろ、すでに提出済みの「申込書兼出艇申告書」の最終確認を艇長会議で行うことによって出艇申告書を提出したものとみなす。
12. 帰着申告：
帰着後 2 時間以内に陸上本部に帰着申告をし、航跡図を提出のこと。航跡図の提出なき場合は失格とする。
13. 管理事務所への申告：
出艇申告および帰着申告ともに、本部で一括行うので、各艇による個別申告は不要とする。
14. レース旗の掲揚：

バックステー又はフラッグポールにHYC旗を掲げること。

15. ハンディキャップ：

レース委員会が定めたハンディキャップ（TCF）を適用する。

16. 表彰：修正1位から3位まで、及びファーストホームを表彰する。

17. 適用規則：

本レースのための公示、本帆走指示書および安全対策要綱、ならびに以下を適用

セーリング競技規則 2017～2020 版

公式日没時刻から公式日出時刻までは海上衝突予防法が優先される。

日没時刻（神奈川・横浜）； 2017 年 9 月 2 日 18:07

日の出時刻（同）； 2017 年 9 月 3 日 5:15

18. その他 指示事項

（1） 電話連絡：下記の2回の時刻を陸上本部に電話連絡すること。

※国際VHF装備艇は、VHFを積極的に活用する。

① 初島灯台を磁北に見たとき、初島回航時刻

※左方に二本の無線塔(柱)があるので誤認しないこと。

② フィニッシュ予想時刻の 60 分前、フィニッシュ予想時刻。

（2）フィニッシュが夜間の場合はスポットライトにてセールを照らし、セール No. の確認を容易にすること。 ※なるべく赤灯台近くを通過すること。

（3）出艇申告したがスタートしなかった艇、途中棄権した艇は直ちに陸上本部へ連絡すること。

（4）出港から帰着まで全員ライフジャケットを着用すること。

（5）夜間および荒天時にはセーフティ・ハーネスを着用すること。

（6）安全確認および緊急連絡用には携帯電話を使用するので常時通話可能な状態にしておくこと。国際VHF装備艇は常時受電体制にすること。

（7）オートパイロット： シングルハンド艇以外は使用禁止とする。

（8）抗議および救済の締め切りは最終艇のフィニッシュ後 60 分とし、抗議書は実行委員会に提出する。

19. レースコミッティ：第 15 回 葉山・初島ヨットレース 実行委員会

・ 実行委員長：鍛地 裕司（090-3226-6213）

・ 陸上本部（初島廻航時、フィニッシュ予想60分前連絡等及び緊急連絡先）：
艇長会議時に発表致します。

・ 実行委員艇：ファーストスピリット、シオン、アルカ、RAIA（HMYC）、ウェイビーホッ

ト

・ HYC レース委員長：犬飼 一通（090-9231-0554）

・ HYC 財務委員長：桑原 健二（090-8874-1649）

20. レース中の緊急時連絡先

1) 上記陸上本部（レース中 HYC 事務室内）鍛地 裕司（090-3226-6213）

2) 海上保安庁（救助・救難等重大事故）118（海上保安部共通）

第3管区海上保安部 045-211-1118（代表）

同管区 横須賀海上保安部警備救難課 046-862-0118

同管区 湘南海上保安署 0466-22-4999

同管区 下田海上保安部 0558-23-0118

同部 伊東マリパトロールステーション（海浜事故対応中心）0557-35-3085

3) (社) 日本水難救済会：葉山救難所（実質葉山ヨットサービス）046-875-2988

4) 民間：(有) 葉山ヨットサービス 046-875-2988

以上



HAYAMA YACHT CLUB

2017年7月

第15回 葉山・初島ヨットレース 安全対策要綱

NPO法人 葉山ヨットクラブ
レース委員長 犬飼 一通
実行委員長 鍛地 裕司

非整備艇の出場は、個人の責任により判断をお願い致します。

	項目	確認内容	Self Check
1	艇の責任者の責任	艇と乗組員の安全の確保は艇の責任者の避けられない責任であり、艇の責任者は所有艇を最良の状態、かつ十分な耐航性を有するように保持し、荒天の海にも対抗できる体力と適切なトレーニングを積んだ経験十分なクルーを乗り組ませるように万全をつくさねばならない。 艇の責任者は船体、スパー、リギン、セール及びすべての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用法と置き場所をクルーに熟知させておかねばならない。 すべての必要備品は下記の条件を備えていなくてはならない。 a) その備品に対する定められた機能及び性能を有すること b) 定期的にチェックされ、清掃され、整備されていること c) 使用しないときには劣化を最小限に押さえるよう収納されていること e) 使用目的、ヨットの大きさに適合する型式、寸法、容量のものであること	
2	重量物	可動型の重量備品、例えばバッテリー、ストーブ、ガスボトル、タンク、工具箱、アンカー及びチェーンなどは強固に固定されていなければならない。	
3	コンパニオンウェイ・ハッチ	ハッチ・差し板などが流れ出ないよう、ラニヤードなどで流れ止めがあること。	
4	軟木の木栓	艇体を貫通して開いている穴には、そのサイズに適合する、柔らかい木で出来たテーパー状の木栓を取りつけるか、ごく近くに収納することが望ましい。	
5	パルピット・スタンション・ライフライン	パルピットとスタンションは恒久的に取り付けられていなくてはならない。 これらに取り付けるパルピットおよびスタンションはライフラインがなくても機械的に保持できるように装着されなければならない。 ライフラインについては次のとおりであることを推奨する。 1. 直径 3mm 以上のワイヤーを用いてピンと張られたライフラインが艇の周囲に装備されていること。 2. ライフラインの高さは概ね次の通りとする。上方のライフラインの高さはワーキングデッキより 600mm 以上とし、かつ、下方のライフラインの高さはワーキングデッキより 230mm 以上とする。 3. 上方のライフラインと下方のライフライン間ならびに下方のライフラインとワーキングデッキ間の垂直距離は各々 380mm を超えなくてはならない。 4. 1 段のみの場合は、ワーキングデッキより 450mm 以上の高さでタイトに張られていること。 5. ライフラインの素材は以下のいずれかでなければならない。 ・ステンレスの撚り線 ・二重打ちのダイニーマ・ロープ	
6	ビルジポンプ	手動のビルジポンプ 1 台またはラニヤードが付いた 2 個の十分な容量のある頑丈な作りのバケツを装備すること。ビルジポンプハンドルの流れ止めがあることがのぞましい。	
7	コンパス	コンパスは磁気型のマリタイプで艇電源から独立して作動する もの。	
8	航海灯	航海灯はセールや艇のヒールによって隠されない位置に取付けられていること。また、出航前に、点灯確認をしておくこと。	

9	携帯電話・携帯電話・国際VHF	至急の連絡に対応する。なお、各艇より、初島回航時およびフィニッシュ1時間前の陸上本部へのコールを義務づける。国際VHFの装備がある艇には、それを有効に活用することを推奨し、陸上本部においても葉山港管理事務所と連携し、受信・発信体制を整える。	
10	ライフジャケット	出港から帰着まで全員ライフジャケットを着用のこと。 膨張式ライフジャケットは、正しく機能するよう、事前に点検を行うこと。 ホイッスルと夜間反射材の装着、ならびに腿紐または股紐を装備することを推奨する。	
11	セーフティ・ハーネス	夜間および荒天時には着用すること。そのほかレース中でも着用することを推奨する。	
12	ジャックライン	セーフティーハーネスをしっかりと取付ける場所として、艇の中心線に対して左舷と右舷のデッキ上に、デッキを貫通するボルトもしくは溶接されたデッキプレートもしくはデッキに取り付けられた強固な金具を使って、常時ジャックラインを取り付けなくてはならない。	
13	消火器	1個以上の消火器を取り出しやすい場所に設置すること。	
14	アンカー（チェーン付）	即座に使用できる状態で、適当な組み合わせのロープとチェーンを備えた1組以上のアンカーを備えること。	
15	フラッシュライト	予備電池及び予備電球を持つ防水型でハイパワーのフラッシュライトかスポットライトを装備すること。	
16	救急マニュアル・救急キット	適切な救急マニュアルを搭載し、救命救急キットを用意すること。	
17	フオグホーン	フオグホーンを装備すること。また、作動することを事前に点検しておくこと。	
18	海図	航海用海図一式(電子式のみは不可)、灯台表および海図作業用具一式を装備すること。 GPSを利用している場合でも、故障した場合にそなえ、1時間おきに海図上にそのポジションをプロットする、また、タック等で航路を変更した場合も同様とする。 作成した航跡図は、フィニッシュ後2時間以内にレースコミティーに提出する。	
19	応急操舵装置	通常使われる操舵装置が、金属で出来ていて破損することが有り得ないと考えられるティラーである場合を除いて、舵軸に取付けることのできる非常用ティラーを用意しておくこと。	
20	工具・予備部品、シュラウド、切断工具	静索(スタンディングリギン)を艇体から速やかに外すか、切断することができる工具(リギンカッター等)と予備部品を用意しておくべきである。	
21	ライフラフト・救命浮器	ライフラフトまたは救命浮器を搭載することを推奨する。	
22	信号紅炎	信号紅炎を装備すること。有効期限を過ぎてはならない。 全ての信号紅炎を収納箱から出して確認すること。	
23	浮環ヒービングライン	ライフブイ1個以上を搭載し、ライフブイの1個は、ヘルムスマンの手の届く場所に置いて、直ぐに使用できるようにして置かなければならない。	
24	コックピットナイフ	鞘に収めて安全に保管された強固で鋭いナイフをデッキからもコックピットからも使える位置に装備すること。	
25	個入用位置灯水密ストロボライト	発光持続期間が8時間以上の白色の個人用灯火(点灯でも点滅でも可)を搭載し、日没後は装備または携帯すること。	
26	バッテリー・燃料	航海灯、エンジン始動、その他の計器の使用に支障が出ないように、出航前にバッテリーを十分充電するとともに、十分な燃料を搭載すること。	
27	レース海域における危険個所の確認	レース海域には、各所において定置網その他漁業施設、暗礁等の危険個所があるが、それらについて事前に十分承知・確認しておくことは各自の責任である。 レース委員会で把握した最新情報、フィニッシュ時のアプローチ参考図等は、その概略を艇長会議において配布するが、あくまでも参考情報の一部として取り扱うこと。	

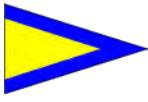


HAYAMA YACHT CLUB

2017 年 7 月

第 15 回葉山・初島ヨットレース フラグシステム

NPO 法人 葉山ヨットクラブ
葉山・初島ヨットレース実行委員会
*I 旗規則を適用する

5 分前 音響信号 1 声	クラブ旗 (予告信号) 掲揚 	I 旗 (準備信号) (なし)
4 分前 音響信号 1 声	(掲揚中) 	I 旗 (準備信号) 掲揚 
1 分前 長音信号 1 声	I 旗 (準備信号) 降下 	I 旗 (準備信号) (降下)
スタート 音響信号 1 声	(クラブ旗 降下)	(なし)
レース延期信号 音響信号 2 声	AP 旗 掲揚 	音響信号 1 声と降下の 1 分後に予告信号
リコール発生 音響信号 1 声	X 旗 掲揚 	
ジェネリコ発生 音響信号 2 声	第一代表旗掲揚 	音響信号 1 声と降下の 1 分後に予告信号
レースの中止	N 旗 掲揚 	
本部船近辺に集合	L 旗 掲揚 	

第15回葉山初島レース エントリーリスト 8月28日現在

エントリー 番号	所属 クラブ	艇名	艇種	TCF	艇長	乗員数 (艇長含む)
1	HYC	ホワイトクレスト	パノニア10	0.798	高橋秀明	7名
7	HYC	ジョビアル・ファイブIV	オセアニス331	0.7961	小南 伸行	7名
4	HYC	ボス	ファースト33.7	0.8857	遠藤 建	7名
3	HYC	ウェイビーホット	ヤマハ33S	0.99	田中 博	8名
5	HYC	ファーストスピリット	オセアニス311	0.7661	海老原俊道	6名
16	HYC	牛若丸V	ファースト36.7	0.98	犬飼 一通	7名
14	HYC	Japoneira	J/V9.6	0.9511	日原 行隆	7名
12	HYC	SION	リベッチオ	0.7459	伊藤 一石	5名
10	HYC	アルカ	パノリア30+	0.7486	亀田 勝	6名
11	HYC	JUGEMU	ファースト31.7	0.8941	片波見 誠一	2名
17	HMYC	コンテッサXIII	ファースト40	1.0635	石原 慎太郎	10名
13	HYC	ココペリ	パノリア30+	0.7557	真野 泰人	4名
15	HYC	七福神	ファースト31.7	0.8941	井上 竜一	5名
8	HYC	アルバトロス	ファースト33.7	0.9057	中倉 敏行	6名
9	HYC	トリトン	ファースト30	0.9439	浦上 洋一	6名
6	HYC	PANDORA V	ファースト31.7	0.8941	石田 雅信	6名
2	HYC	DEN II	ギブシー352	0.855	野村 勝己	7名
18	HYC	Miss Nippon VIII	ファースト40 MO	1.0587	小川 仁	5名
19	HYC	ViscontinaII	XP33	0.9695	石原 伸晃	6名
20	HYC	コーラルシー	バンドヘッド	0.785	魚住 彰	3名



ヨットレースのリアルタイムネットワークアプリ

Sail Vision

サービス概要

スマートフォンのGPS機能を使い、ヨットレースの状況をリアルタイムで見ることが出来ます。運営艇・参加艇は現在地の緯度経度情報をサーバーに送るため、iPhoneもしくはAndroidスマホが必要です。(アプリをダウンロードする必要があります。)
なお、レース状況を観覧するにはパソコンやスマホなどのwebブラウザで可能です。

用意する物：海上でインターネットに繋がるGPS付きスマートフォンもしくはタブレット

対応機器：iPhone 4以降、iPad2以降

対応OS：iOS8.0以上

Android機種はOS 4.1以上

※Androidの古い機種はGPS精度が著しく悪く、メモリ不足からアプリがフリーズする可能性があります。

Sail Visionの使い方

①レース参加艇(1艇1台)はスマホアプリをダウンロード(無料) アプリ名は「Sail-Vision」



iPhoneアプリは
「App Store」



「Sail-Vision」で
検索



Androidアプリは
「Play ストア」

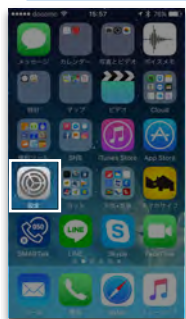


※旧バージョンでは自艇の航跡がでません。必ず最新バージョンをお使いください。

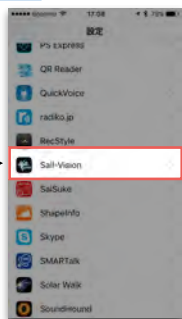
②GPS機能をONにする

※スマホの位置情報を必ずONにしてください

iOS(10.2の場合)



設定



下にスクロール
「Sail-Vision」選択



位置情報「常に許可」
モバイルデータ通信ON

Android

設定

↓
現在地情報

↓
GPS機能を使用ON

(端末により設定方法は異なります)

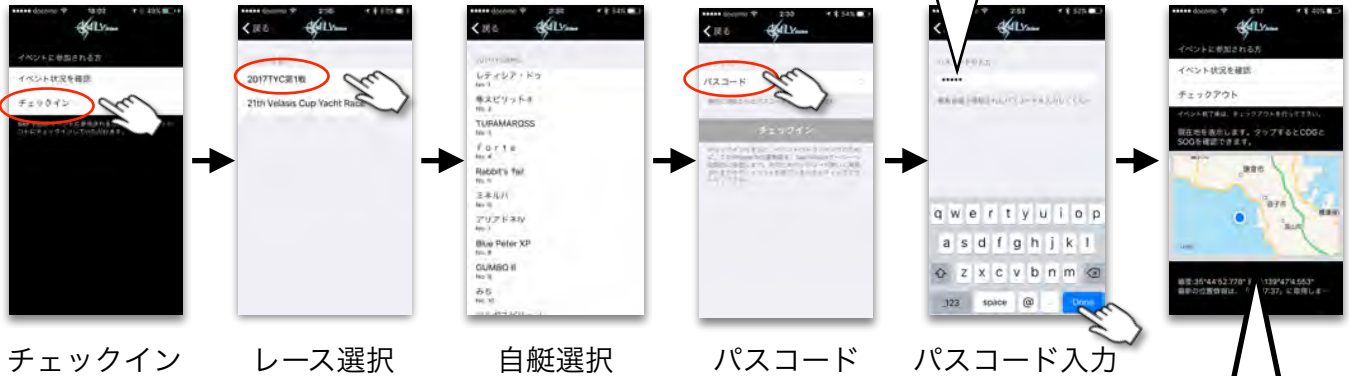
※Android端末にもよりますが、バックグラウンドでも稼働するように設定できます。

設定→保護されたアプリ
→Sail-Vision オン

Sail Visionの使い方

③レースにチェックイン

iPhone Android共通



※Sail Visionアプリの位置情報は衛星からの情報のみでwi-fiからは拾いません。

※チェックインはレース当日午前0時～

室内ではGPSデータが取得出来ないためチェックインできません。上空見晴らしの良いところをお願いします。
また、チェックイン後室内等GPSが届かないところに入った場合は正常に動作しているか確認してください。

※チェックインは1艇1台のみ。バッテリー等の問題で端末を変える場合は一度チェックアウトしてから他の端末でチェックインしてください。

この画面がでるとチェックイン完了
下段に現在地の緯度経度、取得時間
サーバーへの送信時間が表示されます

Androidでは端末によってGPSを捕捉するまでに時間が掛かる場合があります。また、レース中に自艇が消えてしまっている場合はアプリがフリーズしている可能性があります。アプリを立ち上げてください。

④レース状況確認

iPhone Android共通



⑤チェックアウト

フィニッシュ後は速やかにチェックアウトしてください



PCからは<https://www.sail-vision.com>で閲覧可能

不明な点は柿沼まで 090-3408-2879 kakinuma@sail-vision.com